2012年11月10日［土］

14:00—16:00 ☆13:40より受付

出版記念講演会

髙野 彰
英語本の扉を語る

会場

東洋美術学校 D棟 学生ホール

161-0067 東京都新宿区富久町 2-6

聴講料：1,000円

朗文堂

家に扉Doorがあるように本には扉Title Pageがある。

15 00年頃の英語本の扉には、木版の書名、木版の絵を併用した書名、扉全体を囲んだ装飾の枠内に示された書名、コップや逆三角形やワイングラスの形をした書名など、興味深い工夫が目に付きます。こんな工夫をしたのは、扉ページを本文ページとみなしていたからです。そのおかげで、扉は本の品質を保証するページになれるのです。

髙野 彰　Takano Akira

1941年生まれ。跡見学園女子大学文学部特任教授。

博士（日本文化）。主要著書：『洋書の話』増補版（1995年、丸善）

『帝国大学図書館成立の研究』（2004年、ゆまに書房）

主催：株式会社 朗文堂

後援：学校法人専門学校 東洋美術学校 産学連携事務局・デザイン研究会 アクティ

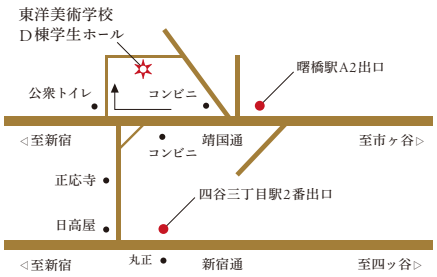
要申し込み登録：10月31日［水］申込締切

E-mail : robundo@ops.dti.ne.jp

Facsimile : 03-3352-5160

http:// www.robundo.com/robundo/blog/

地図・アクセス

都営新宿線 曙橋駅A2出口下車 徒歩8分

東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅2番出口下車 徒歩10分